

伝統

白石夏まつり

白石の夏の風物詩



8月8日、50年以上続く夏の風物詩「白石夏まつり」が開催されました。一時雨が降りましたが、来場されたお客さまの熱気が雨雲を吹き飛ばすように天気は持ち直し、予定していた全ての催しを無事に実施することができ、市内中心部が約1万8,000人の人出でにぎわいました。

午後3時から始まったまつりは、すまいる広場のステージで、津軽三味線奏者の小野越郎さんの演奏でスタート。市内で活動するDance School Groovyや碧水園こども日本舞踊教室に通う子どもたちが日頃の練習の成果を披露しました。司会のワッキー貝山さんが会場を盛り上げ、観客からは出演者の素晴らしいパフォーマンスに歓声が上がっていました。

さらに、8月5日にメジャーデビューした、白石市観光大使の「佐藤三兄弟」が全国40カ所を巡るリリースイベントの集大成として出演。メジャーデビュー曲の「DAISUKI」を含む3曲を披露し、会場は歓喜の渦に包まれました。

壽丸屋敷では「白石和紙あかり展」を開催。ワークショップの参加者が制作した白石和紙のあかり約100点、同時開催の「白石和紙絵手紙展」では、市内小中学校の子どもたちが描いた和紙絵手紙約500点が展示され、夏の夜を幻想的に彩りました。

白石駅前通りでは、白石音頭と盆踊りが行われ、会場にはたくさんさんの踊り手が集結。小野さんの三味線の音色が踊り手を盛り上げ、白石音頭・盆踊りの参加者は華やかな浴衣や思い思いの衣装で踊りを楽しんでいました。

また、会場には、友好都市である札幌市白石区「白石区ふるさと会」の武藤征一会長と中井靖副会長、長谷川豊区長にもご来場いただき、まつりの熱気を存分に堪能していただきました。

まつりのフィナーレには白石城の上空に花火が打ち上げられ、夏の夜空を鮮やかに彩りました。

活気にあふれ、たくさんの人を笑顔にした白石夏まつり。今後も、本市の夏の風物詩として伝統をつないでいきます。



1. 小野越郎さんが奏でる津軽三味線の音色が会場を魅了します 2. 春まつりから人数が増えてパワーアップしたDance School Groovyのダンスで会場の盛り上がりは加速！ 3. 大鷹沢子ども太鼓の力強い演奏は圧巻 4. 令和8年熊本地震の募金箱を設置。多くの方から温かいご支援をいただきました 5・8 8月5日にメジャーデビューした「佐藤三兄弟」がオリコン週間演歌・歌謡ランキング1位を獲得したデビュー曲「DAISUKI」を含む3曲を披露。シンクロクロバットとダンスで観客を魅了しました 6. 白石区ふるさと会の武藤会長のあいさつ 7. 白石駅にも特設ブースが設置され、多くの親子が来場しました 9・12 華やかな衣装で盆踊りを楽しむ参加者。駅前通りは多くの人でにぎわいました 10. 同日に壽丸屋敷で開催された白石和紙あかり展は夏の夜を幻想的に彩りました 11. 飲食コーナーには26のブースが大集合。会場は食欲をそそる香りでいっぱいでした

「広報しろいし」読者プレゼント！

「佐藤三兄弟」のサイン色紙を抽選で3名様にプレゼントします。応募は1人1回、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

次の申し込みフォームから、氏名、住所、電話番号などを明記の上、ご応募ください。

●応募期限 9月25日まで



▲申し込みフォーム